



きみがそこにいる

BIG BOSS 若狭孝太郎

明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと存じます。旧年中は、本校教育活動へご理解・ご協力いただき、心よりお礼申し上げます。生徒の皆さん、充実しつつもゆったりと寛ぐ冬休みを過ごすことはできましたか。3学期が始まりました。

「なあ、あの大きな木やけど」「そう。神々しいよなあ」

鶴見緑地。森の中の結婚式場。祭壇の正面に神秘的にそびえ立つラクウショウの大木。参列者の2人がそれを見上げて会話する。聞いていても自然と心地よくなる…。

こんな会話が大切だということ。ある日の新聞の夕刊の特集を読んでいたならそんな解説がありました。冒頭の会話は、本来なら通じないはず。主語がないし、文章も終わっていません。でも、式場で大きな木を見上げた者同士の気持ちが寄り添うことで、共に話をつくり合っているんですね。そして、ちゃんと通じ合う。「対話」ではない「共話」という概念のコミュニケーションがそこにあります。「主語もなく自分と他人との境界線が曖昧で、会話の成立を他人に委ねていて情緒的だから議論には向かない」「でも、そこにはぬるま湯的な安心感がある」と早稲田大学のドミニク・チェン教授が語ります。「なるほど」となる。大切なのは生み出される安心感なんですね。

育ってきた環境も違うし価値観も異なる。そんな人が集まった「クラス」の最後の3ヶ月です。好き嫌いも違うし、得手不得手も異なる。話せば話すほど分かることは、他人と自分とは違うということ。(授業の中では分かりやすく論理的に話す「対話」が大切ですが) だからこそ、クラスの中で、ゆったりとした雰囲気の中で「安心して喋って」「ダラリとして」話す「共話」が大切なのかも知れません。分かり合えない部分があることや意見が異なることは「溝」ではなく、むしろ「出会い」です。相手の気持ちに寄り添いながら、視線の先を共有しながら、心地のいい会話をつくり合えたら素敵だなあと思うのです。クラスをそういう場所にして欲しいと思うのです。

ひとは自分の心でしか、相手を理解できないもの。心の空想だから、相手の像は誤解だらけかも知れない。でもそれでいい。誤解に責任を持つ。むしろ好意的に誤解する。(大林宣彦:映画監督)

1月の予定			給食	2月の予定			給食
1日	日			1日	水	朝のつどい	○
2日	月			2日	木		○
3日	火			3日	金		○
4日	水			4日	土		
5日	木			5日	日		
6日	金			6日	月	生徒会委員会	○
7日	土			7日	火		○
8日	日			8日	水		○
9日	月	成人の日		9日	木		○
10日	火	始業式		10日	金	私立入試 乗り入れスクール	1,2年○
11日	水	1,2年チャレンジテスト・3年実力考査	1,2年○	11日	土	建国記念の日 私立入試	
12日	木	3年短縮授業・3年実力考査	1,2年○	12日	日		
13日	金	英検	○	13日	月	生徒会委員会	○
14日	土			14日	火	特別選抜出願	○
15日	日			15日	水	45分授業(昼食あり)	○
16日	月	生徒会委員会	○	16日	木	新入生保護者説明会 3年三者懇談	○
17日	火	避難訓練	○	17日	金	公開授業研究会	
18日	水	朝のつどい	○	18日	土		
19日	木		○	19日	日		
20日	金		○	20日	月	特別選抜入試 3年三者懇談(~22日)	○
21日	土			21日	火	1,2年学年末考査	3年○
22日	日			22日	水	1,2年学年末考査	3年○
23日	月	生徒会委員会(1,2年)私立出願	○	23日	木	天皇誕生日	
24日	火		○	24日	金	1,2年学年末考査	3年○
25日	水	3年学年末考査	1,2年○	25日	土		
26日	木	3年学年末考査 1年百人一首大会	1,2年○	26日	日		
27日	金	3年学年末考査 2年百人一首大会	1,2年○	27日	月	生徒会委員会	○
28日	土			28日	火		○
29日	日						
30日	月	生徒会委員会	○				
31日	火		○				

校内履きスリッパ 指定品変更のお知らせ

校内移動の安全性を考慮して、令和5年度から校内履きを可動ストラップ(踵)付きスリッパに改定します。在校生は現在使用のスリッパを継続して使っていただけますが、新たに購入する際は可動ストラップ(踵)付きスリッパを購入していただくこととなります。

販売はこの1月から開始しています。(購買部で見本展示) 価格は1,550円です。